

熊本震災支援・庭先避難のための「ちいさいおうち（板倉小屋）」プロジェクト
「解体材や端材を活かして、木製家具や小物をつくろう」

知足美加子（彫刻家・九州大学准教授）

熊本震災被災者が避難するための板倉家屋を建てる「ちいさいおうちプロジェクト」の一環として、解体予定のおうちの構造材、古材を用いてそのご家族の思い出となる木製小物をプレゼントするワークショップを行います。

（例）表札、時計、郵便受け、靴置き、傘立て、お盆、お皿など

建築指導：安藤邦廣（筑波大学名誉教授）田上健一（九州大学）

木材加工指導：千本木直行（福岡教育大学）知足美加子（九州大学）

日時：6月26日（日）～27日（月）8時半～17時

場所：熊本県阿蘇郡西原村布田1964-9

問い合わせ先：西原村商工会 藤本 090-9795-8170

日本板倉建築協会 安藤 029-893-3346

九州大学芸術工学研究院 知足 092-553-4465

tomotari@design.kyushu-u.ac.jp



「表札制作プロセス」

下に古材を敷き化粧ビスでとめる

板倉材の端材の寸法

厚さ3cm 幅13.5cm、18cm

（写真のものは合板を仮置き）



（西原村商工会・藤本誠一さんのお話）

解体が決まっている住民の方に家の事をお伺いすると、様々なご家庭のいろんな思い出の詰まったおうちのストーリーをお話しされます。

建てられたご先祖の事、お父さんの事、柱の傷（ご家族の身長記録）太平洋戦争のときの事、嫁がれたときの事など、それぞれの思い出の詰まったおうちです。ただ解体に対する補助金の締切の兼ね合いもあり、住民のお方の胸中ご推察すると胸が痛みます。